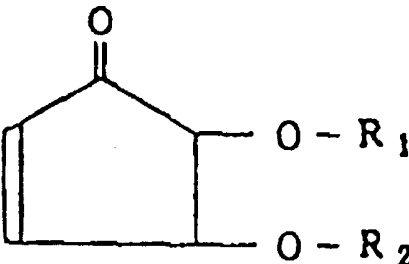




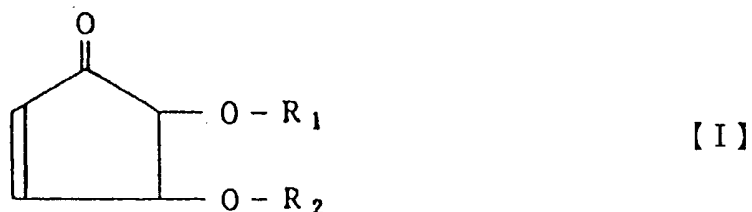
PCT

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

<p>(51) 国際特許分類6 C07C 49/597, 49/657, 49/707, 49/753, 45/71, A61K 31/12</p>	<p>A1</p>	<p>(11) 国際公開番号 WO99/00349</p> <p>(43) 国際公開日 1999年1月7日(07.01.99)</p>
<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP98/02516</p> <p>(22) 国際出願日 1998年6月5日(05.06.98)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平9/187205 1997年6月30日(30.06.97) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 寶酒造株式会社(TAKARA SHUZO CO., LTD.)(JP/JP] 〒612-8061 京都府京都市伏見区竹中町609番地 Kyoto, (JP)</p> <p>(72) 発明者: および</p> <p>(75) 発明者/出願人 (米国についてののみ) 小林英二(KOBAYASHI, Eiji)(JP/JP] 小山信人(KOYAMA, Nobuto)(JP/JP] 加藤郁之進(KATO, Ikunoshin)(JP/JP] 〒520-2193 滋賀県大津市瀬田3丁目4番1号 寶酒造株式会社 中央研究所内 Shiga, (JP) 稲見 薫(INAMI, Kaoru)(JP/JP] 〒563-0032 大阪府池田市石橋4-16-12-305 Osaka, (JP) 芝 哲夫(SHIBA, Tetsuo)(JP/JP] 〒561-0852 大阪府豊中市服部本町1丁目2番28号 Osaka, (JP)</p>		<p>(74) 代理人 弁理士 安達光雄, 外(ADATI, Mituo et al.) 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1丁目6番20号 新栄ビル6階 Osaka, (JP)</p> <p>(81) 指定国 AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GE, GH, HU, IL, IS, JP, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZW, ARIPO特許 (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN, TD, TG).</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>
<p>(54)Title: CYCLOPENTENONE DERIVATIVES</p> <p>(54)発明の名称 シクロペンテノン誘導体</p> <p>(57) Abstract Cyclopentenone derivatives of general formula (I) or optically active isomers thereof, or salts of both (wherein R<sub>1</sub> and R<sub>2</sub> are the same or different and each represents a linear or branched alkyl group, a linear or branched alkenyl group, an aromatic group, an araliphatic group or H, excluding the cases in which both R<sub>1</sub> and R<sub>2</sub> are H, or R<sub>1</sub> is benzyl and R<sub>2</sub> is H).</p> <div style="text-align: center;">  <p>(I)</p> </div>		

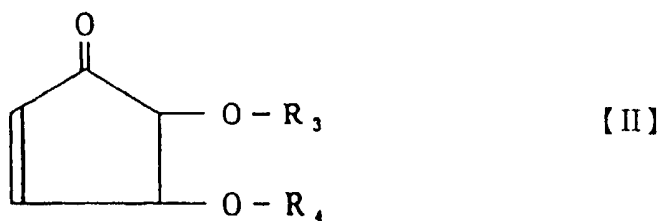
## 請 求 の 範 囲

1. 下記一般式【I】で表されるシクロペンテノン誘導体若しくは光学活性体又はそれらの塩。

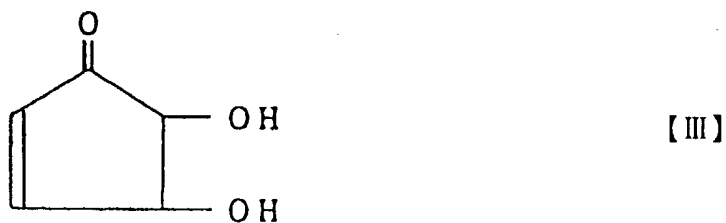


(式中、 $R_1$ 、 $R_2$ は同一又は異なる直鎖又は分枝アルキル基、直鎖又は分枝アルケニル基、芳香族基、芳香脂肪族基又はHである。但し、 $R_1 = R_2 = H$ 、あるいは $R_1 = \text{ベンジル基}$ で $R_2 = H$ の場合を除く。)

2. 下記式【III】で表される4, 5-ジヒドロキシ-2-シクロペンテン-1-オン及び／又はその光学活性体と下記一般式【II】で表されるシクロペンテノン誘導体の $R_3$ 、 $R_4$ に相当するアルコール及び／又はその反応性誘導体を同時又は順次反応させることを特徴とする一般式【II】で表されるシクロペンテノン誘導体の製造方法。



(式中、 $R_3$ 、 $R_4$ は同一又は異なる直鎖又は分枝アルキル基、直鎖又は分枝アルケニル基、芳香族基、芳香脂肪族基又はHである。但し、 $R_3 = R_4 = H$ の場合を除く。)



3. 請求の範囲1記載のシクロペンテノン誘導体若しくはその光学活性体又はそれらの塩から選択される少なくとも一つの化合物を有効成分として含有することを特徴とする医薬。
4. 医薬が制がん剤である請求の範囲3記載の医薬。
5. 医薬がアポトーシス誘発剤である請求の範囲3記載の医薬
6. 請求の範囲2記載の方法で得られるシクロペンテノン誘導体若しくはその光学活性体又はそれらの塩から選択される少なくとも一つの化合物を有効成分として含有することを特徴とする医薬。
7. 医薬が制がん剤である請求の範囲6記載の医薬。
8. 医薬がアポトーシス誘発剤である請求の範囲6記載の医薬。